

(12) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社経営状況報告書

一 法人の概要

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
- 2 目 的 天神川流域下水道の維持管理に関する業務を行うとともに、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究等を行い、県及び流域関連市町が実施する下水道事業に協力し、もって地域住民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成24年3月19日
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立許可年月日
昭和57年8月1日)
- 4 設立登記年月日 平成24年4月1日
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立登記年月日
昭和57年8月7日)
- 5 基本財産 出えん金 3,000,000円
鳥取県出えん金 1,500,000円
倉吉市出えん金 500,000円
湯梨浜町出えん金 500,000円
三朝町出えん金 250,000円
北栄町出えん金 250,000円
- 6 役員等 評議員 5人 理事 7人 監事 2人
評議員 井土美智子(湯梨浜町女性団体連絡協議会副会長)
〃 能登克浩(元倉吉商工会議所専務理事)
〃 石田耕太郎(倉吉市長)
〃 松島文子(学校法人藤田学院鳥取短期大学生生活学
科教授)
〃 太田裕司(鳥取県生活環境部次長)
理事長 長谷川具章
常務理事 長谷川具章(理事長兼務)

理事 宮 脇 正 道 (湯梨浜町長)
" 吉 田 秀 光 (三朝町長)
" 松 本 昭 夫 (北栄町長)
" 竺 原 晶 子 (e・らぼ事務局長)
" 山 崎 昌 徳 (倉吉市副市長)
" 大 呂 英 樹 (鳥取県生活環境部水・大気環境課長)
監 事 馬 壁 聰之介
" 木 天 昌 明 (税理士)

7 職 員 8人

8 事 務 所 東伯郡湯梨浜町はわい長瀬1517番地

二 平成28年度事業実施状況

天神川流域下水道の維持管理及び運営業務を行う指定管理者（平成26年度～平成30年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理を適正かつ効率的に行い、良好で安定的な下水処理の確保を図るとともに、設備機器類等の下水道施設の適切な維持管理を行うことで、持続的な下水道機能の確保に取り組んだ。

また、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を実施することともに、継続的な業務改善と効果的・効率的な管理運営による経費の縮減に取り組んだ。

1 天神川流域下水道の管理運営業務

(1) 天神浄化センターの運転管理業務

天神浄化センターの流入汚水に対して、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理を適正かつ効率的に行い、常に良好な状況を保持し下水道機能の確保を図るとともに、年間を通じて良好で安定的な下水処理を実施することができた。脱水汚泥は全量処分委託により堆肥化及び固形燃料化（炭化）として有効活用を図った。

流入汚水量は年間7,482千 m^3 で、対前年比6.1%の増加となり、脱水汚泥は年間5,281トンで、4.7%の増加となった。一方で、使用電力量は2.5%の増加にとどめるとともに、燃料（重油）や塩素滅菌剤等の使用量を削減することができた。

[汚水及び汚泥処理の状況]

汚水処理量		汚泥処理量	
日平均	20,499 m^3	脱水汚泥（年間合計）	5,281.2t
年間合計	7,482,148 m^3		

[水処理の状況]

項目	流入下水	放流水
BOD (mg/l)	140	2.1
浮遊物質 (SS) (mg/l)	120	2

※ BOD=生物化学的酸素要求量

(2) 施設の維持管理業務

天神浄化センターの日々の運転操作・監視及び保守点検を外部委託で実施するとともに、設備機器類の定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕工事、そして3号主ポンプ、2号送風機、ケーキ貯留サイロ等の計画的な分解整備（オーバーホール）を実施し、故障の未然防止や主要機器類の長寿命化に取り組んだ。

また、若土ポンプ場施設や市町処理分区の流量計測設備（23箇所）等の維持管理、幹

線管路施設の巡回点検等を実施した。

2 下水道の水質分析等

平成28年度水質試験計画により、天神浄化センターへ流入する汚水、放流水、市町処理分区の接続点の汚水及び汚泥等の分析を公社が直営で実施し、リアルタイムに現場へ反映させることにより、適正かつ効率的な運転管理に取り組んだ。

水質試験回数	406回
検体数	25,026検体

3 下水道技術者の養成

県内下水道事業に係る職員の技術研修会を鳥取県及び日本下水道事業団と共催で開催した。また、職員の資質向上を図るため、研修、講習会に参加した。

4 下水道技術の調査研究

下水道管理技術は年々進歩しているため、適切かつ効率的な運転管理と維持管理の実践に向けて課題・テーマを選定し調査研究に取り組んだ。

- (1) 平成28年8月より毎月1回程度水処理・汚泥処理等検討会を開催し、調査研究を行い、成果の反映を図っている。(10回開催)
- (2) 第53回下水道研究発表会(名古屋市)に2名職員が参加した。

5 下水道知識の普及及び啓発

- (1) ホームページに公社の財務状況、水処理状況、催しの案内等を随時掲載した。
- (2) 下水道についての理解と普及促進を図るため次のとおり開催した。

ア ぐるり水の探険

1市4町の小学生親子を対象に、東郷ダム、倉吉市水道局円谷町水源池、天神浄化センターの施設見学、水質検査の体験等を行い、水の循環、適正な利用、汚水処理について理解を深めてもらった。

イ 第28回下水道コンクール

1市3町の小学校4年生の児童を対象に下水道に関するポスター、習字、標語の作品を募集した。審査会の上、優秀作品には表彰式を開催し、表彰状を授与した。(応募総数 774点)

ウ 下水道ふれあい教室

小学校に職員が出向き、下水道の仕組み、微生物の説明、顕微鏡観察、水質検査等の授業を実施した。(7校)

エ 施設見学者への対応

施設見学者に対して、見学者用パネルを設置して、施設の説明及び案内を実施した。

見学者総数 315人（内訳：一般3人、学校297人、官公庁15人）

6 業務改善と事業経営の効率化

(1) 水処理、汚泥処理等検討会の開催

平成28年8月より毎月1回ペースで水処理・汚泥処理等検討会を開催し、業務の充実改善と適切かつ効率的な管理運営の調査・検討に取り組んだ。

- ・夏期の汚泥性状の変動について
- ・汚水処理原価の現状と課題について
- ・水処理、汚泥処理費用の削減について
- ・地震時の初動対応と被災状況調査について
- ・場内植栽管理方法の抜本的な見直しについて
- ・中期経営計画について

(2) 経費削減の取組

管理業務の経営改善と経費削減等による事業経営の効率化に、現場主義で実践的に取り組んだ。

- ・管理棟ボイラーの廃止（削減額 310千円）
- ・次亜塩素酸ナトリウム注入率の見直しによる減量（削減額 1,050千円）
- ・屋外水銀灯のLED化（8灯）（削減額 150千円）
- ・再生可能エネルギー発電促進賦課金減免措置の適用（削減額 9,500千円）
- ・流量計測設備点検業務委託の点検頻度の見直し（削減額 2,100千円）
- ・物品購入見積依頼者の増（3者以上の対象を20万円から5万円に引下げ等）

(3) 環境改善

トイレが和式で、30年以上経過して古くなっているため、見学者が利用しやすいように洋式に改修した。

7 その他業務

(1) 鳥取県中部地震の被災対応（10月21日発生）

- ・天神浄化センターについて

14時7分 地震発生直後に浄化センター内が全て停電したことから、施設内の破損・損傷箇所について緊急点検を実施した。

14時53分 電気設備を復旧させ、浄化処理が滞ることがないように処理場内の主要ポンプの運転を再開した。

また、場内道路等の沈下（4箇所）を発見し、安全確保のため立入禁止処置を実施した。その他、機械等の損傷は、難を逃れた状況であった。

・幹線管渠について

公社内に対策本部を設置し、マンホール概略点検、約230箇所を実施した。結果、マンホール内のクラック、菅渠からの漏水・浸入水等の損傷が多数確認された。

マンホール被災箇所は、47箇所で被災率は16%であった。（災害復旧工事対応）

・下水流入量の状況について

マンホール・管渠等の損傷により、破損箇所からの流入水量は、日量約4,500^{m³}の増加が確認された。内訳は、市町公共下水道処理分区が日量2,800^{m³}、県幹線管渠が日量1,700^{m³}と推定される。

流入量の増加は、浄化センターの日々の処理費用の増加につながっており、早急に対策が必要であることを県及び市町の関係機関へ連絡し、対策を講ずることとした。

(2) 防災訓練等

消防計画を見直して、火災だけではなく、地震、その他の災害を想定した計画を策定し、総合訓練を実施した。

(3) 中期経営計画の策定の取組

下水道事業を取り巻く経営環境の変化に対応するために、事業及び経営状況等の現状を的確に把握して、中長期的な視野に基づく計画的な経営に取り組み、公社事業の充実と経営の効率化を一層進める必要がある。そのために、今後の公社の果たすべき役割、方向性及び具体的な取組を明確に示した中期経営計画（計画期間：平成29年度～平成32年度）を策定した。

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

正味財産増減計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
	円	円	円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	750	752	△ 2	
基本財産受取利息	750	752	△ 2	
事業収益	491,756,430	475,932,056	15,824,374	
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	491,756,430	475,932,056	15,824,374	
雑収益	224	4,021	△ 3,797	
受取利息	224	4,021	△ 3,797	
経常収益計	491,757,404	475,936,829	15,820,575	
(2) 経常費用				
事業費	474,609,572	454,401,788	20,207,784	
役員報酬	4,827,653	4,466,566	361,087	
給料手当	33,712,590	33,719,818	△ 7,228	
退職給付掛金	1,980,000	2,304,000	△ 324,000	
福利厚生費	5,146,433	5,390,536	△ 244,103	
会議費	17,380	22,605	△ 5,225	
旅費交通費	262,615	284,550	△ 21,935	
通信運搬費	345,471	345,098	373	
消耗品費	22,117,730	19,729,038	2,388,692	
修繕費	90,325,714	71,976,862	18,348,852	
印刷製本費	312,185	319,680	△ 7,495	
燃料費	706,977	1,192,786	△ 485,809	
光熱水料費	65,330,394	72,455,801	△ 7,125,407	
賃借料	810,327	663,713	146,614	
保険料	14,661	13,394	1,267	
手数料	98,590	138,027	△ 39,437	
租税公課	4,377,351	4,693,410	△ 316,059	
委託費	244,133,501	236,540,304	7,593,197	
負担金	90,000	145,600	△ 55,600	
管理費	17,839,465	21,865,648	△ 4,026,183	
役員報酬	1,206,912	1,116,638	90,274	
給料手当	7,334,505	11,092,512	△ 3,758,007	
退職給付掛金	360,000	576,000	△ 216,000	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
	円	円	円	
福利厚生費	1,352,101	1,594,634	△ 242,533	
会議費	6,000	23,740	△ 17,740	
旅費交通費	247,385	222,380	25,005	
通信運搬費	321,343	298,156	23,187	
消耗品費	1,031,597	1,160,781	△ 129,184	
修繕費	126,456	83,675	42,781	
印刷製本費	88,992	48,600	40,392	
燃料費	560,735	769,271	△ 208,536	
光熱水料費	1,615,164	1,791,561	△ 176,397	
賃借料	399,654	400,650	△ 996	
保険料	124,870	96,010	28,860	
諸謝金	302,800	272,200	30,600	
手数料	305,882	175,560	130,322	
租税公課	191,849	117,090	74,759	
委託費	2,021,760	1,767,960	253,800	
負担金	241,460	258,230	△ 16,770	
経常費用計	492,449,037	476,267,436	16,181,601	
当期経常増減額	△ 691,633	△ 330,607	△ 361,026	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 691,633	△ 330,607	△ 361,026	
一般正味財産期首残高	3,658,698	3,989,305	△ 330,607	
一般正味財産期末残高	2,967,065	3,658,698	△ 691,633	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0	
III 正味財産期末残高	5,967,065	6,658,698	△ 691,633	

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
正味財産増減計算書内訳表

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	750			750
基本財産受取利息	750			750
事業収益	473,859,549	17,896,881		491,756,430
天神川流域下水道維持管理受託事業収益	473,859,549	17,896,881		491,756,430
雑収益	224			224
受取利息	224			224
経常収益計	473,860,523	17,896,881	0	491,757,404
(2) 経常費用				
事業費	474,609,572			474,609,572
役員報酬	4,827,653			4,827,653
給料手当	33,712,590			33,712,590
退職給付掛金	1,980,000			1,980,000
福利厚生費	5,146,433			5,146,433
会議費	17,380			17,380
旅費交通費	262,615			262,615
通信運搬費	345,471			345,471
消耗品費	22,117,730			22,117,730
修繕費	90,325,714			90,325,714
印刷製本費	312,185			312,185
燃料費	706,977			706,977
光熱水料費	65,330,394			65,330,394
賃借料	810,327			810,327
保険料	14,661			14,661
手数料	98,590			98,590
租税公課	4,377,351			4,377,351
委託費	244,133,501			244,133,501
負担金	90,000			90,000
管理費		17,839,465		17,839,465
役員報酬		1,206,912		1,206,912
給料手当		7,334,505		7,334,505
退職給付掛金		360,000		360,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
福利厚生費		1,352,101		1,352,101
会議費		6,000		6,000
旅費交通費		247,385		247,385
通信運搬費		321,343		321,343
消耗品費		1,031,597		1,031,597
修繕費		126,456		126,456
印刷製本費		88,992		88,992
燃料費		560,735		560,735
光熱水料費		1,615,164		1,615,164
賃借料		399,654		399,654
保険料		124,870		124,870
諸謝金		302,800		302,800
手数料		305,882		305,882
租税公課		191,849		191,849
委託費		2,021,760		2,021,760
負担金		241,460		241,460
経常費用計	474,609,572	17,839,465	0	492,449,037
当期経常増減額	△ 749,049	57,416	0	△ 691,633
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 749,049	57,416	0	△ 691,633
一般正味財産期首残高	3,516,572	142,126	0	3,658,698
一般正味財産期末残高	2,767,523	199,542	0	2,967,065
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	5,767,523	199,542	0	5,967,065

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金	30,037,719	33,393,039	△ 3,355,320
未収金	52,789	0	52,789
貯蔵品	2,967,065	3,658,698	△ 691,633
流動資産合計	33,057,573	37,051,737	△ 3,994,164
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	36,057,573	40,051,737	△ 3,994,164
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	210,970	248,918	△ 37,948
未払金	29,879,538	33,144,121	△ 3,264,583
流動負債合計	30,090,508	33,393,039	△ 3,302,531
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	30,090,508	33,393,039	△ 3,302,531
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
2 一般正味財産	2,967,065	3,658,698	△ 691,633
正味財産合計	5,967,065	6,658,698	△ 691,633
負債及び正味財産合計	36,057,573	40,051,737	△ 3,994,164

三 平成29年度事業計画

1 基本方針

当社は、天神川流域下水道の維持管理及び運営業務を行う指定管理者（平成26年度～30年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理、設備管理、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を適切に遂行するとともに、継続的な業務改善と更なる事業経営の効率化に取り組むことにより、下水道事業を取り巻く社会情勢の変化や地域のニーズ等に対応できる公益法人を目指していく。

平成29年度は、平成28年10月発生の鳥取県中部地震に伴う下水道災害の復旧状況や下水道流入量の変化を流域関連市町と情報共有しつつ、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理と施設の維持管理を、より適切かつ効率的に遂行する。

2 事業内容

(1) 天神川流域下水道の運転管理及び施設の維持管理業務【531,728千円】

ア 天神浄化センター運転管理業務【109,883千円】

- 天神浄化センターの水処理施設、汚泥処理施設の運転管理を適正かつ効率的に行い、常に良好で安定した水質の確保と汚泥処理の最適化及び有効活用して取り組む。
- 日々の運転操作・監視及び保守点検は外部委託で実施しており、相互連携の下で安定的な運転管理を図る。

・計画流入汚水量

平成29年度	平成28年度（実績）
7,313,870 m ³ (日平均20,038 m ³)	7,482,148 m ³ (日平均20,499 m ³)

・放流水質管理目標

BOD (mg/l)	浮遊物質(SS) (mg/l)	大腸菌群数(個/cm ³)
10未満	10未満	30未満

※ BOD＝生物化学的酸素要求量

・計画汚泥処理量

平成29年度	平成28年度（実績）
5,119t	5,281t

イ 施設の維持管理業務【421,845千円】

- 設備機器類に精通した専門技術者の蓄積されたノウハウを活かし、定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕工事、そして計画的な分解整備（オーバーホール）を行っ

て、設備機器類の故障の未然防止と長寿命化を図る。

・維持管理施設

対象施設	天神浄化センター（処理能力32,000m ³ /日）、幹線管渠（28.6km）及び放流管渠各処理分区流量計測設備（23か所）、若土ポンプ場
------	--

・主要機器類の分解整備【74,468千円】

水中エアレータ、3号送風機、ベルト型ろ過濃縮機、自家用発電設備

(2) 下水道の水質分析等【2,175千円】

処理場へ流入する汚水、放流水、各処理分区の接続点の汚水及び汚泥等の分析を行い、リアルタイムに現場で適正かつ効率的な運転管理を図る。

(3) 下水道技術者の養成【404千円】

ア 下水道に関する知識、技術の習得、向上を図るため、各種団体が実施する研修会等へ参加し、現場実務に反映させる。

イ 関連公共担当職員を対象に鳥取県の協力を得ながら、浄化センターで技術講習会を開催する。

(4) 下水道技術の調査研究【208千円】

ア 下水道維持管理コストの縮減、水処理、汚泥処理技術等の改善策などについて、調査研究を実施する。

イ 7月に開催される下水道研究発表会（日本下水道協会主催）において、調査研究の発表を行う。

(5) 下水道知識の普及及び啓発等【619千円】

ア 見学者に対して、下水道の仕組み、役割等を説明、施設見学を実施する。

イ ホームページに下水道に関する情報を掲載して、啓発を実施する。

ウ 水の循環をテーマとし、下水道が環境に果たす役割の理解を深めることを目的とした「ぐるり水の探検」を開催する。

エ 「下水道コンクール」として、関連公共1市3町の小学校4年生の児童から、ポスター、習字、標語の作品を募集する。

オ 「下水道ふれあい教室」として、職員が小学校へ出向いて、下水道の仕組み、水質検査等の授業を実施する。

(6) その他公社の目的を達成するために必要な事業

「第39回全国下水道公社連絡協議会」の開催県として、各県公社が抱える諸課題につ

いての協議、相互連携を図り、事業の適正な運営に努める。

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
収 支 予 算 書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1	1	0	
基本財産受取利息	1	1	0	
事業収益	554,627	531,681	22,946	
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	554,627	531,681	22,946	
雑収益	2	2	0	
受取利息	2	2	0	
経常収益計	554,630	531,684	22,946	
(2) 経常費用				
事業費	535,134	507,503	27,631	
役員報酬	4,150	5,021	△ 871	
給料手当	33,786	34,714	△ 928	
退職給付掛金	1,656	1,944	△ 288	
福利厚生費	6,160	6,354	△ 194	
会議費	11	24	△ 13	
旅費交通費	489	353	136	
通信運搬費	346	345	1	
消耗品費	20,550	22,620	△ 2,070	
修繕費	118,553	92,998	25,555	
印刷製本費	497	350	147	
燃料費	765	688	77	
光熱水料費	71,731	76,081	△ 4,350	
賃借料	922	905	17	
保険料	16	16	0	
手数料	195	219	△ 24	
租税公課	4,738	4,739	△ 1	
委託費	270,445	259,961	10,484	
負担金	124	171	△ 47	
管理費	19,496	24,181	△ 4,685	
役員報酬	1,037	1,256	△ 219	
給料手当	8,080	11,724	△ 3,644	
退職給付掛金	504	576	△ 72	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
福利厚生費	1,501	2,161	△ 660	
会議費	15	28	△ 13	
旅費交通費	613	401	212	
通信運搬費	330	312	18	
消耗品費	1,075	1,045	30	
修繕費	115	165	△ 50	
印刷製本費	100	63	37	
燃料費	261	756	△ 495	
光熱水料費	1,840	1,942	△ 102	
賃借料	535	413	122	
保険料	98	120	△ 22	
諸謝金	313	313	0	
手数料	309	192	117	
租税公課	330	294	36	
委託費	2,125	2,119	6	
負担金	315	301	14	
経常費用計	554,630	531,684	22,946	
当期経常増減額	0	0	0	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	2,815	3,869	△ 1,054	貯蔵品期首残高
一般正味財産期末残高	2,815	3,869	△ 1,054	貯蔵品期末残高
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000	3,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000	3,000	0	
III 正味財産期末残高	5,815	6,869	△ 1,054	

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
収 支 予 算 書 内 訳 表

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1			1
基本財産受取利息	1			1
事業収益	535,131	19,496		554,627
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	535,131	19,496		554,627
雑収益	2			2
受取利息	2			2
経常収益計	535,134	19,496	0	554,630
(2) 経常費用				
事業費	535,134			535,134
役員報酬	4,150			4,150
給料手当	33,786			33,786
退職給付掛金	1,656			1,656
福利厚生費	6,160			6,160
会議費	11			11
旅費交通費	489			489
通信運搬費	346			346
消耗品費	20,550			20,550
修繕費	118,553			118,553
印刷製本費	497			497
燃料費	765			765
光熱水料費	71,731			71,731
賃借料	922			922
保険料	16			16
手数料	195			195
租税公課	4,738			4,738
委託費	270,445			270,445
負担金	124			124
管理費		19,496		19,496
役員報酬		1,037		1,037
給料手当		8,080		8,080

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
退職給付掛金		504		504
福利厚生費		1,501		1,501
会議費		15		15
旅費交通費		613		613
通信運搬費		330		330
消耗品費		1,075		1,075
修繕費		115		115
印刷製本費		100		100
燃料費		261		261
光熱水料費		1,840		1,840
賃借料		535		535
保険料		98		98
諸謝金		313		313
手数料		309		309
租税公課		330		330
委託費		2,125		2,125
負担金		315		315
経常費用計	535,134	19,496	0	554,630
当期経常増減額	0	0	0	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	2,657	158	0	2,815
一般正味財産期末残高	2,657	158	0	2,815
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	3,000	0	3,000
指定正味財産期末残高	0	3,000	0	3,000
III 正味財産期末残高	2,657	3,158	0	5,815

(12) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

財務諸表に対する注記

財産目録

附属明細書

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事業又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1)平成20年公益法人会計基準(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を適用している。

(2)消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	—
合 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	0

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の所得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

12. 指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

13. 関連当事者との取引の内容

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

(単位:円)

品名	当期末残高
補修用部品	825,930
業務用薬品	619,534
材料	689,287
焼却、自家発等燃料	692,069
切手、収入印紙	140,245
合計	2,967,065

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
財 産 目 録

(平成29年3月31日現在)

貸借対象表科目	場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)			円
現金預金	普通預金 山陰合同銀行羽合支店	運転資金として	30,037,719
未収金	鳥取県労働基準協会 中部支部	労働保険料過払額	52,789
貯蔵品	補修用部品	脱水機用ろ布として	825,930
	業務用薬品 (高分子凝集剤、次亜塩素酸ソーダ、苛性ソーダ)	運転管理等に伴う年度末の在庫として	619,534
	材料 (ろ過砂、ケイ砂)	砂ろ過設備、焼却設備の材料として	689,287
	A重油	焼却設備、自家発、給湯ボイラー燃料として	692,069
	切手、収入印紙	郵送、契約書用として	140,245
流動資産合計			33,057,573
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	定期預金 山陰合同銀行羽合支店	公益目的保有財産で運用益を公益目的事業の財源として使用している	3,000,000
その他固定資産			0
固定資産合計			3,000,000
資産合計			36,057,573
(流動負債)			
未払金	鳥取県に対する未払い額他	鳥取県に対する維持管理業務委託料返納金未払他	29,879,538
預り金	源泉徴収所得税他	源泉所得税、住民税預り金	210,970
流動負債合計			30,090,508
(固定負債)			0
固定負債合計			0
負債合計			30,090,508
正味財産			5,967,065

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載のとおりである。